

シルバークラブへのヒアリング調査について

1. 調査目的

- ・ 前年度のアンケートでは把握が容易でない利用者の生の声やそれにより近い意見を収集し、今後の「あみまるくん」が更に活用されるために必要な方策を検討する上で基礎資料とすることを目的とします。

2. 調査方法

- ・ 「あみまるくん」導入時期から、利用の呼びかけや利用方法の周知などでご協力いただいている、シルバークラブの代表者に協力をお願いし、
 - ・ 代表者ご自身の利用に対するご意見
 - ・ メンバーのシルバークラブの会員の方からのご意見（利用者、非利用者とも）
 - ・ メンバー以外でもそれらの方々の知人・ご家族等からのご意見について、聴取する方法を取りました。
- ・ 平成 24 年 11 月～12 月に事務局担当者が代表者のご自宅、またはクラブの活動場所に出向き、代表者、およびその場に参加しておられるクラブメンバーの方にお話ししていただきました。
- ・ クラブによっては、活動日に伺うことができたところ、またこの調査のためにお集まりいただいたところもありました。また、あらかじめ活動日等にメンバーの方に調査していただき、まとまったものを代表者からいただいたところもありました。
- ・ また、一部、お会いする日程が設定できなかったところで、書面によって回答をいただいたものもあります。

3. 調査結果

- ・ 全体的な傾向を見るために、いただいた意見を別紙のように一覧表に整理しました。
- ・ このほか、具体的な問題点や提案については、別途整理しており、今後の検討で活用できるような記録としてあります。

4. 調査結果の考察

- ・ シルバークラブの代表者・メンバー、およびその周辺で、利用希望者がまったくいないか、いても極めて少数であるクラブが全体の約半数あることがわかります。
- ・ これはシルバークラブで活動される方自体は、比較的元気で車の運転も問題なくできる方が大部分であり、直接利用される方はどのクラブもさほど多くはありません。車を運転できず「あみまるくん」を必要とされる方を、クラブメンバーの方が多く知

っておられるようなクラブとそうでないところとの違いがでたものと思われます。

- 地域による違いは明確ではありませんが、利用希望者がいないところの方が「目的地が近いからあまり必要ない」の割合がやや高くなっています。
- 利用希望者から意見を聞くことができたクラブ(表の上半分)では、ほとんどのところで「便利になった・続けて欲しい」に関する意見が聴取されました。特に、車が利用できない人にとっては重要な交通手段であり、それに該当する人の数が少なくて全体の利用量が多くない場合でも、交通手段が無くならないようにして欲しいと考えている傾向を伺うことができます。
- 具体的な利用上の課題として、病院の帰路の予約がとりづらい(時間がわかってからでは予約が一杯で利用できないことが多い)ことの指摘が目立ち、台数の増加への希望が見られました。
- 休日・週末の運行を希望する意見が複数でありました。
- センター、運転手の対応については、具体的な指摘はありませんでしたが、利用希望者の少ないクラブで、2つの指摘がありました。日常的に利用し利用に慣れている人にとってはさほどの問題でなくても、まれに利用する人で不満を感じる場合があることが伺えます。
- 乗り合いのために遠回りや迂回になることが問題だとする意見が、2箇所でありました。
- 料金が高いとする指摘は、比較的多く見られました。
- 荒川沖への乗り入れが良かったとする意見が複数みられましたが、土浦市内の商業施設や病院への足の確保を希望する意見も見られました。
- このほか、PR や、より高齢者に活用されるために、いくつものご意見をいただき来ました。

高校生等の交通実態調査について

1. 調査目的

- ・ 阿見町内のバス路線再編の方向性を検討するにあたって、荒川沖路線に関する通勤・通学等での利用拡大の可能性の検討、とくに高校生・大学生等が家族のマイカー送迎で荒川沖駅から JR 常磐線を利用している実態を把握し、これを路線バスに転換させる可能性を検討することが重要と考えられます。
- ・ そのため、特に、これに該当する人の居住地分布、利用時間帯、また、バス便の利便性が高まったときの転換の可能性についての情報を収集するための調査を行うこととします。

2. 調査方法

- ・ 高校生・大学生が多く含まれると考えられる、16歳～22歳の町民を対象に、住民票データから必要数を無作為抽出し、調査対象者に設定しました。
- ・ 2月1日にアンケート票 1500部を郵送配布しました。回収は料金受取人払いで郵送回収を行います。
- ・ 2月9日を回答締切に設定し、2月末までに単純集計、また、3月末までに詳細分析を行う予定です。

3. 調査内容

- ・ 別紙、アンケート調査票のとおりで、大きく分けて以下の質問項目からなっています。
 - A. 一般的な平日の外出行動：

目的地と交通目的・手段の実態を把握します。特定の区間や時間帯で移動している人の総量を推計するために使用します。また、公共交通の需要量を推計する際の母数となります。
 - B. 普段の外出行動：

Aに比べて厳密さは下がりますが、各回答者がバスや鉄道をどのくらい使うかの大きな量を把握します。属性別で公共交通の利用意向を分析する際などに使用します。
 - C. 問1～3 駅利用の実態：

Bと同様の目的で、鉄道利用の際の駅までの移動の実態についてより詳しく聞く質問です。
 - C. 問4～7 公共交通転換の受容意識：

他の交通手段とバス・鉄道利用を対比して考えてもらうことで、関心を持ってもらえたときに利用の可能性がどのくらいありそうかを調べるものです。
 - D. 個人属性：

年齢、居住地などの基本的な属性を聞きます。

小学校区	便利になった 続けて欲しい	予約・登録の課題	センター・ドライバー の対応の課題	遠回り・迂回が 多い	料金が低い	町外への運行	利用希望者がい ない・少ない	もっとPRが必要	目的地が近いか らあまり必要ない	自分で運転や家族の 車で移動できる
阿見小		午後が予約がとりづらい								
阿見小	○ 障害のある人 一人暮らしの人				○			郵送登録 スーパー病院に協力し てもらっては		高齢なので遠出は自 粛している
阿見小	○			○	○					
阿見小	利用が少なくて無くなることを心配している 墓掃除、お葬式にも役に立つ 高齢者が運転しなくてよいようになってほし い	週末も使いたい				荒川沖は喜ばれて いる		口コミで利用が増える		
阿見小	○				300円がよい					○
一小	○ 生活への安心感が出た 福祉交通としての位置付けで、利用増にな らなくても運行してほしい	必要な時に乗れない 急に乗りたいたときに乗れない もっと前から予約したい 席が空いていても使えない 病院の帰り・買い物の帰りの予約が取 りづらい 夏は暑いから夕方まで使えとよい 週末も使いたい(子供宅、イベントなど)		○	○ バス(150~250円)と比べ高 い 近距離利用には割高 団体割引がよいのでは			荒川沖駅は知らなかつ た(複数)		・運転できなくなったと きの保険と考える ・家族の外出に合わせ ることよい
二小						土浦駅にいて欲しい				
二小	福祉バスよりは評価が高い	休日利用をしたい			○					○
本郷	思った時間に着ける	病院の帰りに当日予約ができるとよい				同じ場所へ行く場合の割引		土浦の病院が不便	○	
本郷	○ 毎日使いたい	最初は損をしても台数をふやすべき						荒川沖は早い時間 なら使いたい 病院 までが不便	○	○
実穀	○ 思った時間に着ける	月曜利用で前週に予約を忘れがち			○			荒川沖駅を使う		○
実穀	利用者が減っても続けて欲しい									○
君原	○									○
君原		予約が入りづらい 増便 台数増を						町外にいけるように 検討して欲しい		
君原	巡回バスは利用されていなかった デマンドでは3名が登録 往路は希望通り行ける	帰り12~1時がとりづらい 携帯の無い人は公衆電話が少なく帰 りの申込みも難しい 空車に乗せてもらえないという声 土曜の通院に使えとよい				複数の店で買物などのため1 日券があるとよい			連絡もおっくうな人でも 使おうと思うよう、せめ て電話番号を大きな紙 に	町中に比べて同居は 多いが昼は独居にな る
阿見小					○		○		○	
阿見小		病院の帰りの予約が不便	センター、運転手対 応が悪いとの声あり		○	土浦イオンなどへ行 きたい	△		○	
一小							○			
一小							○			○
一小							△			○
一小							○			
一小						大型商業施設 病院 など	○			
一小							○		○	
二小	路線バスは日中本数が少ない	必要な時に乗れない もっと前から予約したい 予約が埋まると急な利用がしづらい 30分くらいなら待てるので当日便が欲 しい 週末も使いたい(子供宅、イベントなど)				400円は妥当だと思う		○	荒川沖駅は知らなかつ た	ハンドルが握れなく なったときに使いたい 自家用車は夫婦で取 り合いになることがあ る
二小							△		○	○
本郷						無料か往復100円	△	必要なとき電話番号が わからなかった		○
実穀	○						△	○		
君原			センター電話受付の 男性の対応が悪い				△			
君原							△			○
島津							○			
島津							○			○
吉原							○			○